

学校だより



令和元年度 No.9

糸魚川市立南能生小学校

令和元年 11月 25日

児童数 25名

電話 568-2011

文責 校長 金子 浩子

いよいよ冬将軍が近づいてきましたね。学校から見える銚が岳も、うっすらと雪化粧する季節となりました。最近、焼山や火打山の初冠雪を眺めて通勤していましたが、「いよいよ里にも到来か」と冬の訪れを感じています。20日の朝のあられが、体育館の屋根から落ちたのでしょうか。当校直後にそのまとまりを見た子どもたちは、すかさず小さな雪だるまをつかって玄関前に飾っていました。南能生小の子のたくましさと感じました。



今月は熊の出没情報があり、藤後・楨地区の児童の通学方法を変更しました。通学路を県道側に替え、今月中は朝の通学は保護者の送りとしています。帰りは県道側を歩いて帰ります。熊の出没がなくなれば、登下校時とも県道側を歩いて通学します。お近くの皆様、子どもたちの見守りと挨拶への対応を、どうぞよろしく願いいたします。

人権感覚を高める11月 様々な学習や取組を展開

6月と10月は、いじめ見逃しゼロスクール強調月間です。これと合わせ、当校では11月を人権教育重点月間として、人権に関わる様々な取組を行っています。

その中でも、家庭や地域とともに子どもたちの心・人権感覚を育てていこうと、全校で人権教育を公開し、その後懇談会を行いました。

人権教育にかかわる授業を全学級で公開 11月14日(木)

1・2年生

副読本「生きるⅠ」から「にこにこ ぷんぷん」という資料を用い、「日常生活でのトラブルに、よりよい解決方法を自分たちで見つける態度を育成したい」と願い、授業を展開しました。資料では、Aさんの手がBさんに当たってしまい、「なんだよ。」の言葉からけんかに発展するのですが、実際にペアで演技を行い、相手の立場や気持ちを体験し、トラブルが起きない言葉掛けを話し合いました。最後に、相手の気持ちを考えたり、言い方に気を付けるなど日常生活での言動を考えたりしました。

3・4年生

副読本「生きるⅡ」の中の「橋」という資料を使い、「昔からの言い伝えから、ある二つの村の住人がお互いに抱いていた偏見を、3人の子どもたちの心の交流を通し

て解決していく」という内容の学習をしました。教師の話の聞いたり、友達の考えを聞いたりしながら、言い伝えや風評に惑わされることなく、不確かなものは確かめたり、誤ったことに対しては自ら立ち上がって行動することは差別解消の第一歩であることを、中学年なりに考えていました。

5・6年生

今年は部落差別問題を取り上げて学習しています。本時は、部落差別に負けず立ち上がった人々の姿から、差別の現実に学び、自分の生き方を考えていってほしいと思い、「渋染一揆」を題材に授業を行いました。「渋染一揆」は被差別部落の人々に対してのみ儉約令を出した岡山藩の差別政策に対し、53か村もの人々が強訴した出来事です。実際に出された儉約令を示しながら、藩の不当な差別について理解し、差別された人々の思いを考えました。子どもたちには少し難しい内容でしたが真剣に考えていました。

第2回「上南の子どもを育てる会」を行いました 11月14日

上記の人権学習を地域の方にも参観いただこうと、同日に第2回「上南の子どもを育てる会」（南能生小学校コミュニティ・スクール）を開催し、委員の皆様にも授業を参観いただきました。すべての学級をまんべんなく参観された委員さん、じっくりと1つの学級を参観された委員さん双方いらっしゃいましたが、子どもたちの学びと共に、資料の内容を一緒に考えながら参観されているようにも拝見しました。

協議会では、「人権について、発達段階に応じよく考えていた」「私たち（委員さんたち）が、子どもの時に学んだ被差別に対する内容と、今は違ってきている」などが話し合わせ、人権教育に関して認識を新たにすると共に、学校で子どもたちが人権についてどのように学んでいるか理解を深めていただきました。

その後、1学期の学校評価や、学校との協働によって実践できた活動について確認しました。当校は、上南地区の皆様から快く活動にご協力いただき、子どもたちは豊かな体験を重ねることができています。これらを再度確認することができました。

能生中学校区 いじめ見逃しゼロスクール 11月7日（木）



いじめの未然防止や解消のためには、児童生徒、教職員、保護者、地域の人々が力を合わせて、明るい学校づくりに取り組んでいくことが大切だと言われています。

能生中学校区では、小学校5・6年生と中学生が一同につどい、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行っています。今回は、コミュニティ・スクールの委員さんにもご参加いただき、能生中学校区の取組を参観いただきました。

今年度は、まず能生中学校の全校合唱を聞かせていただきました。市音楽発表会で、能生中学校 西脇校長先生が「大きな声で歌が歌えることは、素晴らしいことです。歌が歌える学級や学年・学校は、心を許し合える集団だからです。」との挨拶と、合唱コンクールでの歌声が印象的で、「小学校の子どもたちに、是非聞かせたい」とリクエストをしました。当日、中学校の生徒は、大きな声・素晴らしい歌声で、2曲の合唱を披露し、音楽面でも生徒指導面でも、「まばゆい先輩たち」は、その願いに見事に応えてくれました。

その後は、アイスブレイキングで、5つの小学校の児童と中学生がグループになり仲良く活動をし、交流を深めました。

そして、当日の中心である講演会です。徳島県人権エンタメ集団「友輝（ゆうき）」のリーダー 中倉茂樹さんを講師にお招きし、講演を聞きました。中倉さんは、全国で講演をされている方で、ひどい差別を受けた内容なのですが、明るい語り口で児童生徒にも質問をしながら、ご自身の幼少期から現在までを話されました。子どもたちは、中倉さんの心のつらさや、受ける言葉や暴力・いじめへの理不尽さを感じていました。最後に「人権学習は、人として幸せになる学習」という言葉があり、人権学習を重ねていく大切さを感じました。

一人ひとりが大切にされること、個々が尊重される心を醸成するには学校、家庭、地域の協力の輪を広げることが重要です。「いじめ見逃しゼロ」と合わせ、子どもたちの心の醸成・見守りにご協力をお願いいたします。

5・6年生が国語の授業を公開しました 11月18日（月）

能生中学校区の上越教育事務所の要請訪問として、5・6年生が研究授業を行いました。能生中学校区の先生方が、木浦小学校と当校に分かれ、授業改善や指導充実のために子どもたちの学びや複式授業について、研修を行いました。



両学年とも「物語をつくり、ブックストアを開こう」という单元名で、6年生は物語を書き、本時はペアの子のPR ポスターづくりです。よりよいポスターにするために、良い点を見つけ、光る言葉を入れながら紹介文を書きました。

5年生は、物語を書く構想段階で、骨子となる「構成表」の作成を行いました。登場人物の設定や展開をどのようにしようか考え、物語を組み立てていました。

30人近くの参観者に囲まれながらも、自分たちで学習を進めた子どもたち。参観者からは、複式授業であるため自分たちで進めようとする学習態度がよい、示された流れに沿い見通しをもって学習する姿が素晴らしいなどの感想が聞かれました。

3・4年生 ジュニアキッチン 魚の背開きにも挑戦！ 11月14日



3・4年生がジュニアキッチンを行いました。当日は、保護者の皆さんは見守りです。子どもたちは、出刃包丁で魚の背開きを行ったり、越の丸なすを使った料理をつくったり。最後は、ご飯、こくしょ、カマスのパン粉焼き、なす田楽と、地元食材たっぷりの1食分の食事ができあがりしました。もちろん味は最高！3・4年生の皆さん「和食の達人」でしたよ。

1・2年生 秋を感じよう ～ブナ林を探検～ 11月12日(火)



1・2年生は、生活科の学習で「秋見つけ」探検に行ってきました。途中、秋の植物にふれたり紅葉する林を眺めたりしながら、ブナ林へ到着！ブナ林では、ダイナミックに斜面を滑り降ります。南能生小の子どもならではの活動です。この活動ができる子どもたちは幸せです。

12月の主な予定

- 2日(月) PTA 役員会
- 3日(火) 個別懇談(藤後・高倉
下倉・上能生)
- 4日(水) 個別懇談(楨)
- 6日(金) 全校計算力テスト
- 11日(水) 委員会活動
- 13日(金) 地区子ども会
- 24日(火) 第2学期終業式

1月の主な予定

- 8日(水) 第3学期始業式
- 9日(木) 書き初め会
- 10日(金) 発育測定
- 15日(金) 避難訓練
- 24日(金) スキー教室**
- 29日30日 NRT 学力検査

スキー教室の日を変更しました。24日でご予定ください。

2月1日(土) 南小ファイヤー

